【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公表番号】特表2016-532456(P2016-532456A)
【公表日】平成28年10月20日(2016.10.20)
【年通号数】公開・登録公報2016-060
【出願番号】特願2016-543270(P2016-543270)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/81　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/55　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　5/40　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ０７Ｋ　14/81
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｎ　5/10
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　37/64
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　1/04
Ａ６１Ｐ　5/40
Ａ６１Ｐ　37/06
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　7/00
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　21/04
Ａ６１Ｐ　7/04
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　29/00　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成29年7月21日(2017.7.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
完全長若しくは野生型のＡｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質に通常は存在するＮ末端及びＣ末端のうち少なくともいずれか一方の１つ又は複数のアミノ酸を欠いている改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体であって、前記改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質は配列番号１、配列番号２、配列番号４、配列番号５に記されたアミノ酸配列、又はそれらと少なくとも７０％同一のアミノ酸配列を含み、前記改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体は、対象者に投与されると炎症の予防、軽減及び緩和のうち少なくともいずれかを行うことができる、改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体。
【請求項２】
完全長若しくは野生型のＡｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質に通常は存在する複数のＣ末端アミノ酸を欠いており、前記複数のＣ末端アミノ酸は１つ又は複数の酸性アミノ酸を含む、請求項１に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体。
【請求項３】
Ｎ末端又はＮ末端付近にアミノ酸配列Ｃ‐Ｘ‐Ｃを含む、請求項１又は請求項２に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体。
【請求項４】
前記改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質は、配列番号１、配列番号２、配列番号４、配列番号５に記されたアミノ酸配列、又はそれらと少なくとも８０％同一のアミノ酸配列を含む、請求項１、請求項２又は請求項３に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体。
【請求項５】
治療上有効な量の、請求項１～５のいずれか１項に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体を、薬学的に許容される賦形剤の担体希釈剤と共に含む医薬組成物。
【請求項６】
少なくとも１つの追加の作用薬をさらに含む、請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記少なくとも１つの追加の作用薬は、非ステロイド系抗炎症薬（ＮＳＡＩＤ）、アミノサリチラート、コルチコステロイド、免疫抑制薬、サイトカイン／サイトカインレセプター阻害薬、抗生物質、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項８】
対象者の炎症を軽減又は緩和するための医薬組成物であって、請求項１～４のいずれか１項に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項９】
前記炎症は、対象者における疾患、障害及び状態のうち少なくともいずれかに関連しているか又は続発するものである、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記疾患、障害及び状態のうち少なくともいずれかは基準療法に対して抵抗性である、

請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
前記基準療法は、非ステロイド系抗炎症薬（ＮＳＡＩＤ）、アミノサリチラート、コルチコステロイド、免疫抑制薬、サイトカイン／サイトカインレセプター阻害薬、抗生物質、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される少なくとも１つの基準作用薬の投与を含む、請求項１０に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
少なくとも当初は、基準療法とともに補助的に投与される、請求項１０又は請求項１１に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
少なくとも当初は、総用量よりも少なく投与される少なくとも１つの基準作用薬とともに補助的に投与される、請求項１０又は請求項１１に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
対象者の炎症を予防するための医薬組成物であって、請求項１～４のいずれか１項に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項１５】
前記炎症は、対象者における疾患、障害及び状態のうち少なくともいずれかに関連しているか又は続発するものである、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
前記疾患、障害及び状態のうち少なくともいずれかは、免疫学的な疾患、障害及び状態のうち少なくともいずれかである、請求項９～１３及び請求項１５のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
前記免疫学的な疾患、障害及び状態のうち少なくともいずれかは、アジソン病、強直性脊椎炎、セリアック病、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー（ＣＩＤＰ）、慢性再発性多巣性骨髄炎（ＣＲＭＯ）、クローン病、脱髄性ニューロパチー、糸球体腎炎、グッドパスチャー症候群、グレーブス病、ギラン‐バレー症候群、橋本脳症、橋本甲状腺炎、低ガンマグロブリン血症、特発性血小板減少性紫斑病（ＩＴＰ）、インスリン依存型糖尿病（１型）、若年性関節炎、川崎症候群、多発性硬化症、重症筋無力症、心筋梗塞後症候群、原発性胆汁性肝硬変症、乾癬、特発性肺線維症、ライター症候群、慢性関節リウマチ、サルコイドーシス、強皮症、シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス（ＳＬＥ）、血小板減少性紫斑病（ＴＴＰ）、潰瘍性大腸炎、血管炎、白斑、及びウェゲナー肉芽腫症からなる群から選択される、請求項１６に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
前記疾患は消化管の疾患である、請求項９～１３及び請求項１５のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１９】
前記疾患は慢性胃炎又は炎症性腸疾患である、請求項１８に記載の医薬組成物。
【請求項２０】
前記炎症性腸疾患はクローン病又は潰瘍性大腸炎である、請求項１９に記載の医薬組成物。
【請求項２１】
前記疾患は呼吸器系の疾患である、請求項９～１３及び請求項１５のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項２２】
前記疾患は、喘息、気腫、慢性気管支炎、及び慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ）からなる群から選択される、請求項２１に記載の医薬組成物。
【請求項２３】
対象者の炎症性腸疾患の予防及び治療のうち少なくともいずれかを行うための医薬組成

物であって、請求項１～４のいずれか１項に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項２４】
前記炎症性腸疾患はクローン病又は潰瘍性大腸炎である、請求項２３に記載の医薬組成物。
【請求項２５】
対象者の呼吸器系の疾患の予防及び治療のうち少なくともいずれかを行うための医薬組成物であって、請求項１～４のいずれか１項に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項２６】
前記呼吸器系の疾患は、喘息、気腫、慢性気管支炎、及び慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ）からなる群から選択される、請求項２５に記載の医薬組成物。
【請求項２７】
少なくとも１つの追加の作用薬と組み合わせて対象者に投与される、請求項８～２６のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項２８】
前記少なくとも１つの追加の作用薬は、非ステロイド系抗炎症薬（ＮＳＡＩＤ）、アミノサリチラート、コルチコステロイド、免疫抑制薬、サイトカイン／サイトカインレセプター阻害薬、抗生物質、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項２７に記載の医薬組成物。
【請求項２９】
前記対象者は哺乳動物である、請求項８～２８のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項３０】
前記哺乳動物はヒトである、請求項２９に記載の医薬組成物。
【請求項３１】
請求項１～４のいずれか１項に記載の改変型Ａｃ‐ＴＭＰ‐２タンパク質、又はそのフラグメント若しくは誘導体をコードする単離核酸。
【請求項３２】
請求項３１に記載の単離核酸を含む遺伝子構築物。
【請求項３３】
請求項３２に記載の遺伝子構築物を含む宿主細胞。